

自然観察サークル 6 月定例会ブログ



檀原神宮 深田池にて

2023年6月8日(木)自然観察サークルの定例会では畝傍山周辺を散策して植物観察をしました。散策したコースの道端でスイバとギンギシ、ドクダミをたくさん観察しました。そこで担当サークル員がよく間違えるスイバとギンギシの特徴をまとめ、良く分かるように担当者が表しましたので、6月のブログでは「スイバとギンギシの仲間(タデ科)」と「どくだみ」を取り上げ、他に観察できた植物などを掲載したいと思います。天気は下り坂でムシムシした日でしたが、サークル員が持ってきてくれた虫よけスプレーをつけて植物観察に出かけました。

1 スイバ と ギンギシの仲間 (タデ科)・・・(吉田ミドリさん作成資料)

スイバ 雌雄異株



葉の基部は矢じり型 雄花 風媒花 雌花 柱頭は赤い房状 果実の内花被片に包まれる。

根生葉は長い柄あり。茎中部の葉の基部は茎を抱く。茎や葉はシュウ酸を含み酸味がある。

雌雄異株 花序は円錐形につく。花後、雌花の内花被片は大きくなり果実を包む。内花被片は全縁で中肋は肥厚しない(瘤状に膨れない)。

ギンギシ



葉は明るい緑色。下部の葉の葉柄は長い。基部はやや心形または円形。縁は大きく波打つ。上部に行くほど葉柄は短くなり無柄になる。

花の後、内花被片3個は翼状になり果実を包む。内花被片の縁に鋸歯あり、中肋に3個の瘤体(こぶ状突起)が発達する。(3個は同大)

ナガバギンギシ



葉は暗い緑色。下部の葉の葉柄は長い。縁は細かく波打つ。基部はくさび形

内花被片は広卵形で全縁。先は丸く、瘤体(こぶ状突起)の大きさはばらつく(1個だけが大きい)。

エゾノギシギシ(ヒロハギシギシ)



葉幅は広く葉柄や葉脈はしばしば赤みを帯びる。葉の基部は浅い心形。縁は細かく縮れる。葉裏の脈上に突起状毛あり。花は間隔をあけて輪生。内花被片の縁に針状突起あり。瘤体は1個

ギシギシの仲間は雌雄同株

アレチギシギシ



他のギシギシ類に比べ細い。葉の基部は円形から浅い心形。縁は細かく波打つ。葉の中央脈に平行して数本の脈状の隆起線が目立つことが多い。花は間隔をあけて輪生状につくので花序はまばらに見える。内花被片は長卵形で全縁。瘤体は大きく目立つ。

2 ドクダミ

6月の定例会のコースを歩いているとあちらこちらで生い茂っているドクダミが観察できました。

6月のこの時期、花が咲いて種ができ新芽が伸びて私の家では庭中ドクダミだらけになります。ところで、ドクダミは種ができないと聞いたことがあるのだけどどうなんだろう、種はできないのだろうか、でも庭のドクダミの様子では種ができて種からも芽が出ているように見えるしなあと不思議に思っていました。そこで観察会でもたくさん見ることができたドクダミを調べてみました。



【ドクダミ】

ドクダミ科ドクダミ属多年草 古くから民間の薬として重宝され十薬と呼ばれ、薬用のほかに食用、ドクダミ茶などに利用されてきました。花期は5から8月。

1から3 cmの穂状花序をつけます。(花の集まり)

雄しべは(3~8個)葯は黄色。

雌しべは(花糸は細長く基部で雌しべの子房に合着。白い雌しべの花柱は3または4個で反り返っています。

4枚の白い花びら様の物は総苞。(そうほう。葉が変化したもの)日本のドクダミのほとんどは3倍体と言われ有性生殖をおこなわず、胚珠が無性的に種子になる(単為生殖)と考えられています。地下茎で増え、種でも増えるのです。

また、ドクダミには植物体全体に油細胞や分泌細胞・腺毛があり、アルデヒドやケトン、フラボノイド、フェノール化合物、タンニンなどを生成して、寄生微生物や食べられることに対する防御をしているのだろうと考えられています。

(参考文献 多田多恵子著 したたかな植物たち ちくま文庫など)

ドクダミの利用

ドクダミ茶。ドクダミを陰干してお茶にします。

ドクダミのチンキ。(虫よけとして)ドクダミの生葉を35%以上のアルコールにつけます。

ドクダミのはちみつ漬け。ドクダミの新芽や葉をサラダや野菜炒めにして食べる所もあるそうです。

3 畝傍山周辺で観察した植物



ノイバラとバラハタマフシ



マテバシイの雌花(指先)と雄花



アレチギンギシ



カモジグサ



カブトエビ(田圃の中の生き物)



クリの木の花



クリの雌花(中央)と雄花(先)



ラカンマキ(雌雄異株)



ラカンマキ雄木の雄花



ラカンマキ雌木の雌花



コモチマンネングサ



ユキノシタ



スイバの雌花



スイバの雄花



シロヤマブキ(葉が対生)



ヤマブキ(葉が互生)



マメグンバイナズナ



ノハカタカラクサ(トキワツユクサ)



ヘビイチゴ



ヤブヘビイチゴ



ヤブヘビイチゴとヘビイチゴの実



ドクダミ



アカカタバミ



ムラサキカタバミ



ヤマトウキ



ウマノスズクサに来たジャコウアゲハ



チガヤ



シモツケ



バショウの花と実

午後からは雨の予報だったのですが雨にも会わずたくさんの植物を観察でき、ラッキーな一日でした。